



## 「患者支援センター」を開設しました



【患者支援センター：相談窓口】

H30年7月より、1F 総合受付横に「患者支援センター」を開設いたしました。相談窓口である「受付カウンター」及び「個別相談室」3室を新たに造設しております。

内容に応じた適切な職種（看護師、医療ソーシャルワーカー、事務員等）が対応できる体制を整えており、疾病や療養上の相談、医療費、入退院、各種サービス・制度利用などの調整・支援・援助を行うとともに、地域の医療・介護施設等の皆様との連携窓口としても機能しています。お気軽に声をおかけください。

【詳しい紹介はP2に⇒⇒】

### <岩手県立磐井病院 理念>

地域の皆様に納得のできる医療を提供します

### <岩手県立磐井病院 行動指針>

- ① 患者さんの希望や背景を尊重します。
- ② 患者さんの個人情報を守ります。
- ③ 患者さんの安全に配慮し診療に全力を尽くします。
- ④ 地域における医療・介護・福祉の連携に貢献します。

## Contents

- 「患者支援センター」を開設しました・・・1
- 総看護師長あいさつ・・・2
- 患者支援センター紹介・・・2
- 須田麻酔科長が救急功労者総務大臣表彰を受賞・・・3
- 救急科紹介・・・3
- どこでも医療講座の紹介・・・4
- 褥瘡予防対策委員会からのお知らせ・・・4

# 総看護師長あいさつ

総看護師長 平澤 智子



4月から磐井病院に着任しました。15年ぶりに一関に来て病院や市内の変化に驚いています。「熊が早朝に病院受診した？」と全国ニュースが出た頃に一関高等看護学院で働いていました。おかげさまで中堅看護師となった卒業生たちにも支えられて過ごしています。

当院は、患者満足度向上、医療安全、地域・多施設との連携強化を目的に「患者支援センター」を7月に設置しました。看護科は、地域の方々が住み慣れた環境で暮らし続けることを支えていくために、院内外で働く多職種の方々と連携して必要な医療・介護が継続できるよう努めてまいります。

また、その人らしさを大切にした優しさと信頼のある看護を提供するために、看護師一人ひとりが自律した看護職員として成長できるよう支援し、楽しくいきいきと働き続けられる職場環境づくりを進めます。地域の皆さまには、これまでと変わらないご支援をお願いいたします。

## 患者支援センター紹介

患者支援センター 浅沼 由子

H30年7月より患者支援センターが開設されました。

患者支援センターは、地域医療福祉連携室、医療福祉相談室（がん相談支援センター）、入退院支援室で構成されており、地域医療福祉連携室事務4名、医療ソーシャルワーカー（MSW）4名、がん相談支援センター専任看護師1名、入退院支援看護師5名が配属となっております。

それぞれの部門の役割は次の通りです。

【地域医療福祉連携室】1) 受診・転院などの連絡調整 2) 外部団体・機関・施設等との連携 3) がん拠点病院・地域支援病院の事務 4) 各種研修会等の企画調整 5) 広報・ホームページ・年報作成など

【医療福祉相談室（がん相談支援センター）】1) 医療費・生活費・就労に関すること 2) 福祉制度の利用方法について 3) がんに関する情報や悩み 4) セカンドオピニオンについての相談窓口

【入退院支援室】1) 入院に対する不安や分からない事 2) 退院後の介護、それに伴う在宅サービスの検討 3) 病気に関する質問・入院上の不安についての相談窓口

少子超高齢社会や認知症の増加、家族形態の変化、複数の慢性的な疾患をもつ人の増加など、社会の変化に伴い医療現場も変化してきており、治す医療から『可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられる生活を支える医療』への転換が求められています。また、『時々入院・ほぼ在宅』の生活に軸を置く支援を実践する病院・地域の役割が重要だと言われています。



【相談室】



後・中列：患者支援センター（医療相談室/入退院支援室）  
前列：地域医療福祉連携室事務

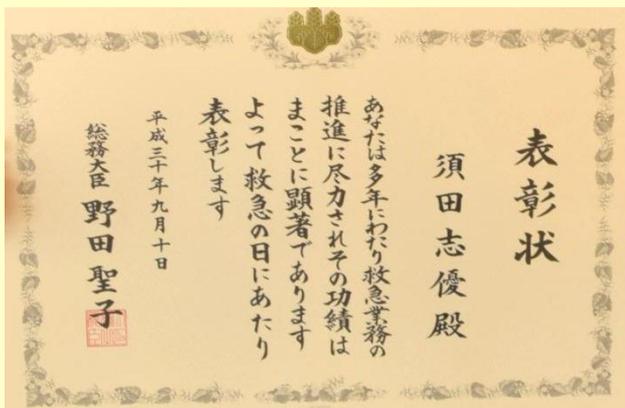
そのような時代に応えるべく、患者支援センターでは入院前から患者・家族の医療上・生活上の課題を明らかにして、退院後の生活を見据えた支援を行い、各医療機関や地域との連携を推進して参ります。

センター受付窓口は総合受付付近に設置されておりますので、お気軽にお声を掛けて下さい。

# 須田麻酔科長が「救急功労者総務大臣表彰」を受賞!!



【救急功労者表彰式】



【表彰状】

当院の須田志優<sup>すだしゆう</sup>第1麻酔科長兼中央手術科長が、平成30年度救急功労者として総務大臣表彰（個人表彰）を受賞しました。

救急功労者表彰は、総務省（消防庁）が平素から救急業務の推進に貢献し、社会公共の福祉の増進に顕著な功績があった個人及び団体を表彰するもので、「総務大臣表彰」と「消防庁長官表彰（消防関係）」があります。

須田科長は、救急救命士、救急隊員の教育・指導及び救急業務に関する各種委員会の運営に尽力し、救急業務の高度化に貢献したこと、また病院実習において救急隊員に対し積極的な教育・指導を行い、地域の病院前救護の質の向上に大きく貢献するとともに、応急手当指導員として救命講習等に積極的に参加し、地域の応急手当の普及啓発に尽力したことが表彰対象となりました。

総務大臣の個人表彰は、今年度須田医師を含めても全国から13名という大変名誉ある賞です。

## 救急科紹介

救急科長 片山 貴晶

当院救急科では、救急外来での救急患者対応と病棟で救急患者入院管理を主に行っております。専任の救急科専門医2名を中心に診療と研修医の指導を行っています。当科で扱う患者は内科系疾患、外科系疾患問わず幅広く受け入れています。一人の患者様でも疾患が多岐にわたる事も多く、院内各科また隣接している県立南光病院精神科の先生方とも相談しながら診療を行っています。急性薬物中毒などの特殊救急疾患にも対応しておりますので、ぜひ御相談下さい。

当院救急外来は昨年3月に大規模な増改築が完了し、新しい救急外来で診療を行っています。重症室や全身洗浄室も備えているほか、災害時の多数傷病者にも対応できるような設備となっています。

また当科では一般外来診療や予約診療は行っていないため、救急で当科を受診した患者様や当科退院後の患者様の外来フォローアップなどは各医療施設でお願いしていますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



【救急処置室】



# どこでも医療講座の紹介 ～当院職員がどこでも講演します～

## ◇どこでも医療講座とは？

地域の方々の希望に応じて、当院の担当職員を地域で開催する講演会の講師として派遣し、講座を開催するものです。当講座を通して、ご自身の健康や医療のことをより多く知っていただきたいと考えております。

今年度は既に8回開催しており、特に「お薬の正しい使い方」「こんな時どうする？応急処置を知ろう」の演題が人気となっております。地域の方々だけでなく、医療従事者の方からの申込みも受け付けておりますので、ぜひご活用ください。

## ◇開催内容等

### (1) 対象地域

一関市及び平泉町全域

### (2) 講演会にかかる費用について

①講師料・派遣料は**無料**です。

②会場の手配や会場の借り上げにかかる費用は、依頼者側の負担でお願いします。

### (3) その他の条件について

受講希望者が10名以上の講習会等を企画願います。

「お薬の正しい使い方」は、薬剤師が講師をつとめます！



【今年行った講座の様子】

※お申込み・詳細は「磐井病院ホームページ」または、「地域連携室（内線 1354）」までお問い合わせください。

## 褥瘡予防対策委員会からのお知らせ

### ●褥瘡研修会を開催します

#### ◇テーマ：

『こんなときどうする？褥瘡ケア【リハビリ編】  
～褥瘡予防につながるベッド上動作介助と車いす姿勢～』

◇開催日時：10月12日（金）17:45～18:45

◇会場：磐井病院2F 多目的会議室

◇参加対象：医療・介護・福祉に携わる職種どなたでも

◇主催：岩手県立磐井病院 褥瘡予防対策委員会

◇参加費：無料

参加ご希望の方は、下記までお問い合わせ下さい。

**申込締め切り日：9月28日（金）12：00**

岩手県立磐井病院 医事経営課 内線 1353 まで

TEL：0191-23-3452

作業療法士が講師をつとめます！



### ●「床ずれ予防の日」イベントを開催します！！

◇開催日時：10月19日（金）9:00～15:00

◇会場：磐井病院外来待合・交流の街

◇参加対象：どなたでも

◇参加費：無料

◇申し込み：不要

10月20日は床ずれ予防の日です。床ずれって何だろう？予防するにはどうしたら良いの？床ずれに関する情報を、わかりやすくお伝えします。皆様ぜひお立ち寄りください。



# 岩手県立磐井病院

#### 【連絡先】

〒029-0192 岩手県一関市狐禅寺字大平17

電話(0191)-23-3452 Fax (0191)-23-9691

連携室直通 Fax (0191)-21-3990

#### 【編集・発行】

岩手県立磐井病院 地域医療福祉連携室

病院ホームページ：<http://www.iwai-hp.com>

公式 Facebook：<http://www.facebook.com/iwaihp>